

和歌山 人・もの・地域

和

n a g o m i

Vol.23
2014

特
集

和発祥の地、 和歌山の地、

ROOTS
in
WAKAYAMA

知事対談 西村幸夫×仁坂吉伸

フォトエッセイ [大斎原の桜]

伝統の巧手 (紀州漆器)

Cool! Deep! Wakayama (橋本市高野口町)

プレミアム和歌山 那智黒 (なちくろ)

和歌山発祥のものはたくさんあるが、日本人の味のルーツである醤油はその代表格。

ROOTS
in
WAKAYAMA

特集

発祥の地、 和歌山

太古より船が行き交う紀伊水道は、都へのゲートであった。
海の彼方から文化や技術が辿り着き、

生まれ変わり、やがて世界へと伝えられる。

味噌、醤油、鰹節。「和」の味覚は紀州に始まる。

紀伊半島は「根の国」とも呼ばれ、

深い森や水に今も神々が宿る、生まれ変わりの聖地。

ここでは祈りが芽生え、文化が受け継がれた。

日本人の魂のルーツもまた和歌山にある。

日本の味のルーツは和歌山にあり



ROOTS
in
WAKAYAMA

醤油蔵
天保12年(1841年)創業の角長では、杉樽に仕込み、薪で炊きあげ、手で灰汁をすくうなど、170年続く歴史を頑ななまで守り、全て手作りで醤油を作っている。

和歌山発祥、醤油の底力

醤油のアレンジ力は、はかりしれない。日本のみならず世界でも愛される日本の食は和食というカテゴリーにさえ収まりきらない。そのベースとなっているのが醤油である。



醤油

金山寺味噌の製造過程においてできる上澄み液があまりにも美味しかったため利用されるようになり、醤油が生まれた。発祥の地和歌山には今も昔ながらの製法にこだわった醤油醸造所がある。



南高梅

最高級ブランドとして有名な南高梅は和歌山県のみなべ町で開発されたもの。最近では疲労回復や風邪の予防、殺菌などの機能性にも注目が集まっている。



鯉節

和食の原点ともいえる出汁。中でも鯉だしは日本人にとって最もポピュラーなもの。その鯉節のルーツも実は和歌山県。鯉の一本釣りを考案したのも印南町の漁師といわれている。



金山寺味噌

ナスやウリなど夏野菜が入った、そのまま食べる「なめ味噌」の一種。鎌倉時代の僧、覚心(後の法燈国師)が宋から製法を持ち帰り、由良町興国寺を中心に製造が広がった。

醤油。それは日本人の味覚の原点である。またほんの少し使うだけで、様々な料理を日本料理に変えてしまう魔法の調味料である。

醤油は和歌山で生まれた。今から約750年前、鎌倉時代のことだ。覚心和尚が中国の径山寺で「なめ味噌」の製法を学び、現在の由良町の興国寺で金山寺味噌としてその製法を広めた。大豆等で作った麴に塩を加え、夏野菜を熟成させる。その時湧き出る上澄み液が非常に美味だったことから醤油は生まれ、醤油作りとて重要な「水」に恵まれた周辺地域を中心に広まった。

だ。大坂や江戸に出荷された紀州の醤油は日本全国に知られることとなり、更には海を越え「ソイソース」として世界中で愛されるようになった。今も湯浅町には白壁の土蔵や格子戸など江戸時代の風情を感じさせる家並みが残り、重要伝統的建造物群保存地区に選定された周辺は、いつもほんのりと香ばしい醤油の香りが漂う。

1年以上かけて仕込む伝統的な製造方法は時間もかかるし手間もかかる。しかし紀州の醤油蔵にはその製法を頑に守り続ける職人たちがいる。それは「味」のためだけではない。「発祥の地」だからこそ守り続けなければならないという使命感にも似た、紀州人の熱き想いがそこにはある。



湯浅の町並み
江戸時代の全盛期には92軒の醤油醸造所があった湯浅町。重要伝統的建造物群保存地区に選定された一帯は、古い時代の建物が残る歴史的界隈で、今でも醸造関係の町家や土蔵などが見られる。湯浅の醤油は、大仙堀から日本のみならず世界へと運び出されていった。



戦国時代最強の鉄砲集団、雑賀衆。その頭領こそ、鈴木孫一重秀、通称「雑賀孫一」。戦略家で、かつミステリアスな生涯がキャラクター性を高め、ゲームファンや歴女を惹きつけている。「元々「雑賀」とは、ほぼ現在の和歌山市に匹敵する地域名で、雑賀に住む孫一だから雑賀孫一」と語るのは和歌山市立博物館総括学芸員の太田さん。「諸説あるが、薩摩・種子島とのコネクションもあり3,000丁もの火縄銃を所有し、織田信長でさえ恐れる程の存在。その経済力や戦闘力は絶大だったそうです」謎のバールに包まれた孫一は、昔も今も和歌山を代表するヒーローである。



孫市の会の雑賀孫市ゆるぎゃら「まごりん」



アクションゲーム「戦国BASARA4」雑賀孫市 ©CAPCOM CO., LTD. 2014 ALL RIGHTS RESERVED.



「戦国無双4」雑賀孫市 ©コーエーテクモゲームス All rights reserved.

鈴木姓のヒーロー、鈴木(雑賀)孫一



ROOTS
in
WAKAYAMA

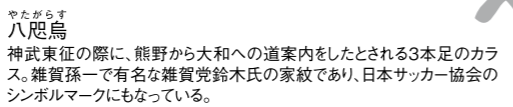
全国の鈴木さんのふるさと和歌山

日本に200万人を超すといわれる鈴木さん。そのルーツを遡ると世界遺産である熊野に繋がる。「鈴木」は熊野地方において神官を受け継ぐ家系であり、神武東征の折り天皇より賜った「穂積」家の後裔だと伝わる。穂積とは稲の穂を積む「稲むら」のことに示し、その中心に立っている一本の穂を熊野では「聖木」と呼び、転じて「鈴木」となったといわれている。熊野古道に点在する九十九王子の中でも格式高い五体王子のひとつ、海南市にある藤白神社。ここは法皇や上皇の熊野参詣の折、安全祈願などを行う重要な拠点であったため、熊野から鈴木氏が神官として遣わされていた。「境内に残されている鈴木屋敷は、

鈴木家25代・重秀が住み始めた邸宅で、その後、122代昭和17年まで鈴木家が住んでいたといわれています」と藤白神社の吉田宮司は語る。また鈴木姓が全国に広まった理由も、熊野神社と深い関係がある。それを裏付けるように、「熊野神社」が多く勧進されている東日本に「鈴木」姓が多い。鈴木を名乗る神官たちは全国に渡り、熊野信仰とともに各地に根付いた。そして、信頼を集めた鈴木氏にあまり、また熊野への憧れを込めて、多くの人が鈴木姓を名乗るようになっていったといわれている。現在、鈴木姓ばかりの人たちが藤白鈴木会を結成し、ルーツの研究を深めている。連続と続く「鈴木姓」。そのふるさとが和歌山にある。



熊野三山
熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社の3つの神社の総称。日本全国に約3千社ある熊野神社の総本社である。修行でもある熊野古道を歩いた後にたどり着く、日本で最も神聖な場所のひとつ。後鳥羽上皇をはじめ多くの皇族や貴族も訪れた。



やたがらす
八咫鳥
神武東征の際に、熊野から大和への道案内をしたとされる3本足のカラス。雑賀孫一で有名な雑賀党鈴木氏の家紋であり、日本サッカー協会のシンボルマークにもなっている。



全国鈴木サミット&鈴木フォーラム
平成25年5月に7年振りとなる全国鈴木サミット&フォーラム(藤白鈴木会主催)が海南市で開催された。四輪車・二輪車メーカーのスズキ株式会社社長鈴木修氏が基調講演を行った。



鈴木屋敷
藤白神社の境内にひっそりと佇む鈴木屋敷。上皇や法皇の熊野御幸の際には御宿泊所として供されたという。平安時代に移り住んだ鈴木氏が建てたもので、全国の鈴木さんの総本家である。



木造熊野三所権現本地仏坐像
境内にある藤白王子権現本堂に祀られている本地仏3体。手前から熊野那智大社の千手観音像、熊野本宮大社の阿彌陀如来像、熊野速玉大社の薬師如来像。いずれも平安末期の作。



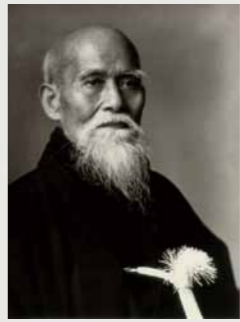
藤白神社
藤白は熊野の玄関口であり、熊野一之鳥居と呼ばれる巨大な鳥居があった。熊野まではあまりにも遠いので藤白神社にお参りし都に引き返した人々も少なかったという。住所/海南市藤白466 電話/073-482-1123



藤白神社で販売されている鈴木家のお守り。全国から多くの鈴木さんが訪れる。

発祥の地、和歌山を徹底紹介します

【合気道】田辺市出身の植芝盛平が日本古来の諸武術を独自の精神哲学でまとめ直し、創始した総合武道。「合気道」とは「天地の『気』に合する道」を意味し、「小よく大を制する」ことが可能と植芝は説いた。現在では全世界に160万人もの愛好者がいる。



【菓子】垂仁天皇の命で田道間守(たじまもり)が橘(現在の蜜柑の原種)を中国から日本に持ち帰り、最初に植えた場所として日本書紀にも登場する海南市下津町の橘本神社。果物は水菓子として食されていたことから、橘本神社はお菓子の神様として全国各地の菓子製造関係者から信仰を集めている。



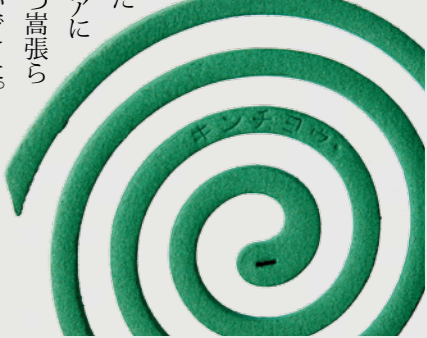
【鯉節】17世紀半ば、印南町の漁民である角屋甚太郎が鯉の保存方法として考案した。当初は熊野節として人気を呼び、その後土佐藩や薩摩藩などに製法が伝わり、全国各地で盛んに製造されるようになった。また、鯉の一本釣漁法も勘太郎が考えたとされている。



わ

和歌山を歩けばルーツにあたる

【蚊取り線香】有田市出身の上山英一郎(「金鳥」の商標で知られる大日本除虫菊の創業者)が1890年に発明した。当初は棒状で1時間程の燃焼時間だったが、妻・上山ゆきのアイデアにより燃焼時間が長く、かつ高張らない渦巻き形のデザインができた。



【完全養殖クロマグロ】串本町の近畿大学水産研究所にて研究を開始し、32年の歳月をかけ、2002年6月に世界初のクロマグロの完全養殖に成功。大阪梅田と銀座に昨年オープンした直営店「近畿大学水産研究所」には、脂が乗った美味しいクロマグロを求め、連日多くのファンが押し寄せている。



【紀州備長炭】県木であるウバメガシを用いた炭の最高級ブランド。「備長」とは、江戸時代紀伊国田辺の商人備中屋長左衛門が販売したことによる。高火力かつ長時間燃焼し、また炎や煙煙も出ないため調理に最適。



【漆器(根来塗)】岩出市の根来寺が発祥で、近代漆器のルーツ。鎌倉から南北朝時代にかけて僧たちが日常に使う什器として、大量の漆器が生産された。大規模な工房とともに大勢の優れた職人も居たが、豊臣秀吉の根来攻めで、職人たちは散り散りになり、和歌山県の黒江を始め、輪島や薩摩に行き着き、それぞれの地で技法を伝えた。



【金山寺味噌】宋での修行から帰国した鎌倉時代の僧覚心が1254年に帰朝し、由良町に興国寺を開山。宋の径山寺より持ち帰った味噌の製法を伝え、湯浅町周辺で生産されるようになった。夏野菜がたっぷり入ったおかず味噌。



【高野豆腐】鎌倉時代、高野山の僧侶たちによって作られ、精進料理として食されていた。江戸時代から昭和初期にかけて高野山では製造業者により盛んに製造された。名前の由来は高野山参拝の土産物として珍重されたからともいわれている。

【古式捕鯨】手こぎの小船で船団を組み、鯨を取り囲む漁法で17世紀に太地町で考案された。この漁法の確立により太地は日本一の捕鯨の町として栄え、漁法は高知や長崎に伝えられた。

【漆器(根来塗)】岩出市の根来寺が発祥で、近代漆器のルーツ。鎌倉から南北朝時代にかけて僧たちが日常に使う什器として、大量の漆器が生産された。大規模な工房とともに大勢の優れた職人も居たが、豊臣秀吉の根来攻めで、職人たちは散り散りになり、和歌山県の黒江を始め、輪島や薩摩に行き着き、それぞれの地で技法を伝えた。

【南高梅】果肉が厚くて柔らかいのが特徴の梅の最高級ブランド。みなべ町が発祥の地であり、生産量も日本一。

【鳩ぼっぼ】日本初の口語体による童謡で、新宮市出身の東くめによつて作詞された。この他、作曲家・滝廉太郎と組み「お正月」「雪やこんこん」など今日でも親しまれている名曲を生み出した。



【ぶどう山椒】実が大きく、ぶどうの房のようになる有田川町原産の山椒。現在も有田川町を中心としたエリアで盛んに栽培されており、生産量は全国の約70%を占める。

【真妻わさび】旧真妻村(現印南町)が発祥のわさびの最高級品種。品質が優れていたため静岡を中心に栽培が広がった。現在印南町の農家が発祥の地復活を目指し、一度は途絶えた生産出荷に向け取り組んでいる。



【和歌山ラーメン】昭和初期より和歌山市を中心に広がった豚骨醤油スープのラーメン。地元では「中華そば」と呼ぶことが多く、全国ご当地ラーメンブームの火付け役にもなった。



【じゃばら】日本で唯一の飛び地の村である北山村に自生していた幻の柑橘。名前は「邪気を払う」ほどに酸っぱいこと由来。ビタミンやカロチンが豊富。また花粉症にも良いと注目を集め、果実や加工品は毎年売り切れしてしまうほど人気。



【醤油】鎌倉時代、興国寺に伝わった金山寺味噌の製造工程でできる上澄み液が醤油の原型。金山寺味噌同様に湯浅町周辺で盛んに製造され、また製法は千葉県銚子をはじめ各地に伝わった。

【鈴木さん】日本で200万人いるといわれる鈴木姓。ルーツを溯れば熊野信仰との繋がりが深い海南市の藤白神社に辿り着く。神官をつとめていた鈴木さんが各地に熊野神社を普請し、東日本を中心に鈴木姓も広がった。



【全身麻酔手術】世界初の全身麻酔手術は和歌山出身の外科医華岡青洲が1804年に成功させた。青洲が麻酔に用いた薬草「曼陀羅華(まんだらげ)」は日本麻酔学会のシンボルマークにもなっている。また、和歌山市出身の作家、有吉佐和子の小説「華岡青洲の妻」により広く一般にも知れ渡ることになった。

わ

ROOTS in WAKAYAMA

ROOTS
in
WAKAYAMA

紀伊半島への 道程は、 信仰の道。

まるで異界から眺める景色のような熊野川の雲海。

物語の原郷 熊野から 旅が始まる

熊野は「モノ」宿る聖地であり「物語」発祥の地である。語るとは、「形あるものにする」という意味で、物事を順序立ててわかりやすく説明することをいう。では「物」とは何だろう。

英語ではthingやgoodsなど目に見える「物」を意味する場面が多いが、日本語本来の「モノ」とは「物」ではない。生き物、化け物、物腰、物心がつくやモノ珍しい。他にも、もののけや「なになにしたいたいものだ」など。つまり回想や記憶、目に見えない様々な「モノ」をさす。これらは我々人間の身体に宿る「心」とも言い換えられる。本来身体の中にあるべき「心」が、何らかの事情で外に出してしまった物を「モノ」と呼ぶ。

言葉は、文字を持っていない古くの人にとって「モノ」であった。目には見えないが声にして聞けば分かる「モノ」であった。日本語には言葉が宿るといわれる所以である。日本語はその言葉の音に漢字を当てはめて作られた。文

字を持つということは、権力を持つことであり、国の礎である歴史を築き、未来に対して継承することができるということであった。こうして読み書きできる文化が様々な物語を創造した。

あの世とこの世の間にひっそりと佇む、未だ成仏していない魂を落着かせ、なだめる場所が熊野である。まさしく「もののけ」などといった目に見えない「モノ」たちの鎮魂が熊野への旅である。癒し鎮められる人々の思いが堆積し、熊野は日本のみならず世界でも類を見ない魅力ある聖地となった。

現世の安寧を願い、平安時代末期の後白河法皇は歴代最多の34度も行幸したという。熊野比丘尼たちは、幾多の奇跡や逸話が織り込まれた物語を日本中で語り、熊野信仰を広めた。そうして熊野詣は皇族のみならず武士や庶民たちにも広がり、「蟻の熊野詣」と呼ばれる程、多くの人々が熊野に旅した。信仰は旅の始まりでもある。

辻原登 TSUJIHARA Noboru

つじはらのぼる

1945年和歌山県生まれ。デビュー作は1985年の中編小説「犬かけて」。1990年「村の名前」で芥川賞、2012年「鞭鞭の馬」で第15回司馬遼太郎賞、2013年「冬の旅」で伊藤整文学賞を受賞。



毎日芸術賞受賞長編小説「許されざる者」など著書多数。



左／高野山町石道は高野山の麓にある慈尊院から山上へ通じる表参道。弘法大師が高野山を開山して以来続く信仰の道。右／熊野古道は京の都から熊野三山へと通じる参詣道。室町時代以降は、武士や庶民の参詣も盛んになった。



知事対談

西村幸夫 × 仁坂吉伸

東京大学 先端科学技術研究センター所長
和歌山県知事
日本イコモス国内委員会委員長



紀伊山地の 多様性が 世界の文化を 豊かにする

自然と建築物が一体となる
世界にも類をみない独特の文化。
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」は、
世界の聖地のリーダーとなる。

仁坂知事(以下仁坂) ●西村先生は現在、東京大学先端科学技術センター所長であるとともに、日本イコモス国内委員会委員長として活躍されています。いよいよ今年で登録10周年を迎える世界遺産「紀伊半島の参詣道」の登録にも準備段階からご尽力いただきました。東西文化の違いがある中で、日本の建造物を世界標準で評価させることは大変なご苦労があったのではないのでしょうか？

西村幸夫氏(以下西村) ●世界遺産は元々ヨーロッパの人たちが中心となつて作ったシステムですから、石組みの建築物だとかヨーロッパ文明のような物が受け入れられやすい枠組みになっています。一方で紀伊山地では、滝がご神体でその前に鳥居はあるが建物がなような自然と建造物が一体となつていような文化で、同様のものはヨーロッパには存在しません。しかし様々な文化が存在するという多様性が、世界の文化を豊かにするんだということを理解してもらおうことからはじめました。彼

らも様々な文化を学ぶ事に興味があり、積極的に理解しようとしていました。

仁坂 ●そして文化的景観として日本で初めて、「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されましたが、当時を振り返り印象深かったことはありますか？

西村 ●当時私はイコモス本部で世界中から上がってくる申請内容を評価する立場でした。文化的景観とは「柵田」で説明すると分かりやすい。一枚一枚の「田」にはそれほど価値はないが、共同で維持管理をするシステムを伴うことで「柵田」となり、そこに文化的景観としての価値が発生します。ヨーロッパにおける巡礼とは点から点へと移動をすることで、紀伊山地における巡礼とは、修験道といった概念も含み歩くことそのものが精神的な修行の場であるというところを理解してもらおう工夫をしました。道といつても「ヨーロッパで考えるような道と違う物が世界にもありえるんだ」ということが、彼らにとって新鮮な考えであるとともに理解しやすかつたようです。

本物を残すことで
多くの人々に感動を

仁坂 ●私は自然や歴史が好きなので、世界遺産を軸とした観光を振興す

西村幸夫(にしむらゆきお)

昭和27年福岡県出身。東京大学工学部都市工学科卒。専門は都市計画、都市保全計画、都市景観計画など。東京大学副学長を経て現在、東京大学先端科学技術研究センター所長。またイコモス(本部)副会長を経て、現在日本イコモス国内委員会委員長もつとめ、世界遺産の登録・保全の分野で国際的に活躍。まちづくりに関する著書多数。



高野山町石道を上り、ようやく辿り着いた高野山には、空海により再現された曼荼羅世界が広がる。根本大塔が建つ壇上伽藍(だんじょうからん)は山上で最も神聖なエリアのひとつ。





知事対談

西村幸夫×仁坂吉伸

東京大学 先端科学技術研究センター所長
日本イコモス国内委員会委員長
和歌山県知事



熊野那智大社へと向かう大門坂。古の風情が色濃く残る石段を、一歩一歩踏みしめて上る。

和歌山県が発行する道案内も兼ねたスタンプ帳。



時に和歌山県では自然公園の見直しを行っていました。これは40年程見直ししておらず、当時の状況と実際の状況が異なっている箇所が何カ所か見つかり修正をし登録変更しました。熊野古道や高野山は、人々の営みがあつてこそ文化的景観を築いています。だから必ずしも大自然のままではなく、昔からの雰囲気を残すことが大切と考えています。

現場との密接な連携が世界遺産を魅力的に

仁坂●県では楽しみながら参詣道歩いていたところとスタンプラリーを実施しています。コース別にスタンプ帳を作り、歩きながらスタンプを集めて行く訳です。そして完歩すると私が証明書を出すんですね。私自身山歩きが好きなので、から、休みを見計らっては歩いていますが、なかなかまとまった休みが取れず、中辺路ルートも三方所を残すまで行っているんですが(笑)。これは歩いた時のエピソードなのですが、中辺路ルートの難所のひとつ十丈峠にさしかかったところで、地元の人と色々話をしている時、「峠にはトイレがあるのですが、旧式のものなのでし尿が溜まると今でも担いで里まで運んでいる」というんです。世界遺産内であるから流す訳にはいかないし、バキュームカーも入れない。「これは大変

るにあたり、より広範囲な景観の保全が重要と考えていました。そこで西村先生にご協力いただき条例の策定に着手しました。**西村**●おっしゃる通り景観条例では世界遺産以上の広範囲を保護しなければなりません。熊野古道を車で訪れる観光客は多いでしょうが、世界遺産である古道を車で走る訳ではありません。古道から50メートルは世界遺産のバッファゾーンとして保護されていますが、少し離れた国道を車で走る人たちは、直接世界遺産を感じることはできません。古道だけではなく、周辺のアクセスルートも世界遺産の雰囲気が感じられないと、多くの方に満足してもらえません。そういった観光

客を満足させたいというおもてなしの心も重要だと思います。**仁坂**●文化的景観とは自然だけではなく、そこに住む人々の生活も重要な要素です。もちろん歴史の重みも感じてもらえるような形で残したい。汗をかきながら熊野古道を歩き、尾根道から景色を眺める。しかしその時に人工物などが見えるところがっかりします。そこでバッファゾーンから見えるその一つ向こうの峰ぐらいまでを昔のまま保全したいと思つています。もちろん林業など人々の営みは問題ありませんが、皆伐して別の物にするようなことをしてはいけないなどのガイドラインを決めておく必要があります。同

だ」って事で、し尿を発酵分解して処理するバイオトイレを急遽設置しました。**西村**●そういうのはやはり現場を見ないとできないことですね。

仁坂●また、道普請ウォークという古道の維持と観光を組み合わせたプランを作りました。熊野古道の路面は土であることが多く、昔は古道沿いに旅籠や店がたくさんあったため、お店の人たちによって常に維持管理、修復されていきました。もちろん今も土が流れださないように木でガードをしているのですが、多くの人が歩く事で道は傷みます。そこで企業やグループ向けにCSR活動の一環として道普請しながら歩くプランを実施しまし

た。土を入れた袋を修復箇所まで運び盛土をしていただき、担当の人がポンポンと叩いてならす。これが評判が良くて、当初は「1万人の道普請」と言つたのが参加者が1万人を超え、今度は「10万人の道普請だ」と言つていきます(笑)。

世界で受け入れられる日本ならではの精神性

仁坂●熊野古道を歩いていると、神様が周りにいるのを感じます。それもたくさんいらつしゃって、いつも守られているような感じですね。これは環境とかか風土とか、ヨーロッパの巡礼の道を歩くのと、

相当違うのだと思います。

西村●現在、参詣道の再調査に携わつていますが、高野山と高野山町石道に改めて興味を感じました。高野山に上がる道には単なる荷物道もありますが、参詣の道とは簡単に見分けがつくようです。一番の特徴は道沿いに石仏や石造物が並んでいることです。色んな人々が何らかの願いを込め寄進したのでしょう。そういう心の蓄積が、参詣の道には残されています。また世界遺産登録審査の際、イコモスから外国人委員が派遣されましたが、高野山の素晴らしさに感激して、後日個人的に再訪したと言っていました。宿坊ではお坊さんが袈裟姿で精進料理を運んでくれます。日本でもそこまで純和風の生活を味わう機会がないので、日本らしさを楽しみにして来た人たちがとつて「ようやくここで巡り会えたよ」と喜んでくれます。

仁坂●高野山は町全体が「寺」であり、世界に類を見ない聖地として外国人に特に人気があります。最後に世界遺産が登録され10年になりますが、産みの親としてアトバイスはごさいませんか？

西村●紀伊山地は歩くことと信仰が結びついた聖地です。和歌山県にはアジアを中心としたそういう聖地のリーダーとなり、新しい智慧が学べる国際交流の場となることを期待しています。

仁坂●わかりました。本日はありがとうございました。

大齋原の桜

Cherry tree in blossom of Oyunohara

熊野の聖地に桜咲く。

春を待ちわびたように

一気呵成と満開となる。

その潔い姿は、まるで時間の瞬きのようで

日本人の心情に共感する。

今年で
登録
10周年!



「紀伊山地の霊場と参詣道」は、和歌山県・奈良県・三重県にまたがる3つの霊場と参詣道を登録対象とする世界遺産です。

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」

The World Heritage

■登録年月/2004年7月 ■種別/文化遺産

■登録資産/

霊場＝熊野三山(熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社)、高野山、吉野・大峯

参詣道＝熊野古道(中辺路(川の参詣道「熊野川」を含む)、小辺路、大辺路、伊勢路(七里御浜を含む)、大峯奥駈道) 高野山町石道、

撮影地/田辺市本宮町熊野本宮大社旧社地



代表的な根来塗(左)から、金粉をあしらった花鳥風月の蒔絵まで。モダンなデザインのものも女性に人気という。

紀州漆器



谷岡公美子 職人歴20年

谷岡漆芸店/海南市岡田296 漆器卸町1-3
電話/073-483-2406

4代目の父、敏史さんのもとで、幼少時から家業を手伝う。大学院で経済学を学び、いったん別の道を目指すのが、「外に出て、地元のよさがわかった」と職人に。平成22年、県内初の女性伝統工芸士に。繊細な蒔絵の小物も得意。「これ、いいね」と言われると苦労も吹き飛びます」

PRINCE of Folkcraft
若き傳承者

なめらかで、奥ゆきある光沢。研ぎ澄まされた「和」の伝統美が、見る者に心地よい緊張感を与えてくれる。

漆を塗り、乾燥させる工程を何度も繰り返し、漆を積み重ねる。研ぎの仕上げに、鹿角の粉を混ぜた油を手にかけて磨き上げると、表面は艶やかさを帯びる。下地の黒をあたかも使い込んだように自然に研ぎ出すのに何度もこの作業を繰り返すこととなる。



日本三大漆器のひとつとして有名な紀州漆器の歴史は室町時代まで遡る。紀州ヒノキの椀に柿渋で下地を施していたのが漆器に発展したとされる。朱色の表面から下地の黒が浮き出た根来塗は、僧兵で有名な根来寺で作られていた器で、紀州漆器の代表格。長年使われることで黒地が浮き出し、それが落ち着いた「味わい」として愛好されるようになった。

また緻密な蒔絵を施すとすると、2年以上かかるものもあるという。温もりある手触りにやわらかい口あたり。使う度に本物であることを感じる。長い歴史と継承された技術が生み出す本物の感動である。



つややかに光る、伝統美
手にすればわかる巧みの技

この伝統マークを使った伝統証紙が貼られている工芸品は、産地組合等が実施する検査に合格した経済産業大臣指定伝統的工芸品です。



伝統マーク



追悼 小野田寛郎氏

負けなかった 名草戸畔の物語

二〇一四年一月一七日の朝、小野田寛郎氏が逝去されたとの報せを受けた。追悼の思いを込めて小野田さんの想い出を振り返ってみたい。



私が小野田さんと初めてお会いしたのは、二〇〇六年十一月のことだ。「名草戸畔伝承」についてお話を伺うためだった。名草戸畔とは、はるか縄文の昔、名草地方(現…和歌山市海南市)を治めていたとされる女性首長のことだ。

小野田さんの実家は海南市小野田の「宇賀部神社」の宮司家だ。宇賀部神社は昔から「名草戸畔」の頭を祀ると言われている。宮司家の小野田家には名草戸畔の伝承が代々口伝で残されてきた。小野田さんは父や祖父からその口伝を聞いて育った最後の伝承保持者であった。名草戸畔は『日本書紀』に、九州から攻めてきた神武軍に「殺された」と言

だけ記されている。ところが、小野田家には、これとは違う物語が残っていることがわかった。「名草戸畔は負けていない」と小野田さんは言う。「神武軍は名草軍に撃退されて仕方なく熊野に行っただけだ。しかし最終的に神武が勝利し天皇に即位した。そのため名草は降伏する形になったが、神武軍を追い払った名草は負けていない」。それが口伝のあらま

しだ。小野田家では、名草戸畔は自分たちの遠い祖先と伝わっている。宇賀部神社の建つ山は、名草戸畔のお墓という説もある。家に入る前に、必ずご先祖のお宮にお参りする習慣は今も守られているそうだ。昨年の二〇一三年五月五日、小野田

さんと名草戸畔について語る講演会を和歌山でやらせていただいた。小野田さんは、名草戸畔をはじめ権力に組みせず自由に生きる紀州人のお話をたくさんしてくださいました。あの時の小野田さんの楽しそうな姿が今も目に浮かぶ。

小野田さんがルバング島で三十年も生き抜いてこられた背景には「負けなかった名草戸畔の物語」があるように思う。神武軍と勇敢に戦った遠い祖先への尊敬と和歌山の豊かな自然が、どんな苦境でも諦めない、しなやかな強さを育んだのではないだろうか。

小野田さんは、ご先祖名草戸畔の眠る宇賀部神社の山にお還りになったのだろう。わたしはそう思っている。

(文 なかひらまい)



2013年5月5日、テレビ和歌山・和歌山放送主催により和歌山市で行われた講演会「なかがひらまい 小野田寛郎 名草戸畔を語る」の様子。小野田寛郎氏が名草戸畔について語る最初で最後の講演となった。



なかひら まい
1970年3月9日生まれ。千葉県出身。作家・イラストレーター・ユング心理学研究会役員。2005年『スプーと死者の森のおばあちゃん〜スプーの日記〜』(トランスビュー)で作家デビュー。2010年12月『名草戸畔 古代紀国の女王伝説』発表。

書籍紹介/『名草戸畔 古代紀国の女王伝説』増補改訂版
なかひら まい・著 取材協力/小藪繁喜 小野田寛郎
価格:1,800円(+税) (スタジオ・エム・オー・ジー刊)
ウェブサイト: <http://studiomog.ne.jp/nagusa/>
和歌山市・海南市に伝わる名草戸畔伝承について、和歌山市出身の郷土史家・小藪繁喜氏と小野田寛郎氏より、土地で語り継がれてきた伝承を採集して描いた古代史ノンフィクション。二人の語る伝承には、遠い昔この土地に生きた人々の思いや暮らしが生きて伝わってくる。律令制成立後に書かれた『日本書紀』とは違う新しい歴史感を提示する一冊。

小野田寛郎(おのだひろお)
1922年3月19日、和歌山県海南市生まれ。1944年12月フィリピンに派遣。以来30年間任務解除の命令を受けられないまま戦闘を続行。1974年3月作戦任務解除命令を受けて日本に帰還。1975年フランスに移住。1200haの牧場を開発。10年かけて軌道に乗せる。1984年ルバング島の経験を生かし、キャンプを通じて青少年育成のため「自然塾」を開く。1989年財団法人小野田自然塾理事長就任。近年は全国各地で精力的に講演活動を行った。2014年1月16日死去。享年91歳。



写真: 堀田賢治



これ、速いぞ!

プラモデル? 大人が遊ぶんや!

昔懐かしいプラモデル屋さん。プラモといえは男子なら一度は組み立てた事があるのでは? エンジンを積んだラジコンカーは大人ものめり込むディープなホビー。

マルタカおもちゃ模型店

住所 / 橋本市高野口町名倉562
電話 / 0736-43-1937

資料館も
レトロで
かわいい!



パイル織物とはフェイクファーから車のシート、タオルなどの様々な生地の総称。高野口はパイル織物で一世風靡した町。パイル織物の原型となった「再織(さいおり)」は高野口町で生まれたといわれている。



珍しい
木造3階建ての
葛城館

耳を澄ませば 賑わいが聞こえる

手すきのガラスが美しく、明治の雰囲気を感じさせる葛城館は平成6年まで高野山の参拝客を対象として営業していた旅館。



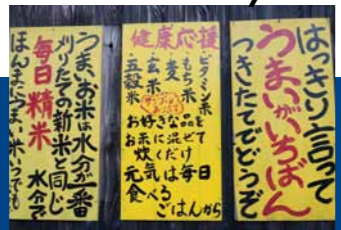
昭和初期に建てられた木造校舎で、今も小学生たちが学ぶ現役の高野口小学校。往事の繁栄ぶりがうかがえる立派な佇まいは、国の重要文化財に指定された。



前田邸は江戸時代に建てられた、高野口を代表する商家の邸宅。



Cool! Deep! KOYAGUCHI!



かつては街道沿いに沢山の店舗が軒を並べていたのだろう。

Cool! Deep! Wakayama

クール! ディープ! ワカヤマ

大和街道と高野街道が交差する、歴史と文化の交差点

洋菓子も
作ってます!



出来立てにこだわり 少しずつ作ってます

米粉ともち米の団子もっちり。きな粉は地元の米屋さんが挽いた国産のものを使用。素朴ながら風味豊かな味わいで人気の商品。

浪花堂

住所 / 橋本市高野口町小田678
電話 / 0736-42-2415



余りの美味しさについて2~3本。香ばしいきな粉の薫りがたまりません。

パッケージも可愛いおちまん。

去年9月にオープンしました!



開店と同時に行列ができるっ!

高野口中学校近くの道沿いに立つパンダのファサードが可愛いクレープ屋さん。小さい店舗ながらもメニューは50種ほどと充実。

パンダクレープ

住所 / 橋本市高野口町名倉1359
電話 / 080-3835-7733



トローリソースと玉子がウマイ!



歴史を感じる
明治の頃の
大福帳

祖母の代から通っています



大和街道沿いで100年、地元の人々に愛される老舗和菓子屋さん。季節の味を感じさせるおまんじゅうはどれも上品で甘さ控えめ。

金澤寿翁軒

住所 / 橋本市高野口町名倉757
電話 / 0736-42-2011

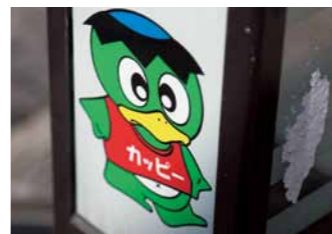
学生さん用に作った「たこせん」も人気のメニュー。



地元の農家さんから直接仕入れたたまりひめがたっぷり入った「いちご生クレープ」。

季節ごとに色んな味が登場するので、いつ行っても楽しめる。

普段の生活と懐かしい時代が混在する町



細い路地を抜けると、歴史を感じる建物を見つけた。人々の暮らしは現在も繋がっている。

【街道が交差する、高野口町】

橋本市高野口町は、かつて京や大坂から高野山への参詣道として利用された高野街道と、奈良の都に向かう大和街道が交わる交通の要衝で、宿場町として大いに栄えた。

洋館のような高野口駅の向かいに建つ「旅館・葛城館」は、ガラスに覆われた木造3階建てで、明治に建てられたとは思えないほど美しい。また明治時代から日本のパイル織物の生産地として知られ、昭和の高度成長期には日本全国の80%を生産し、新幹線の座席は全て「MADE IN KOYAGUCHI」であったともいわれる。現在もフアブリックメーカーとして60社程が集結し、国際的にも有名なブランドに生地などを供給している。

現在の暮らしと静かな歴史が混在する高野口町。交差点を曲がる度に異なった表情に出会える不思議な町だ。

蝶ネクタイでおめかしをするかつぱのクッピー。

東京で見つけた 和歌山ゆかりのお店



季節のフルーツは各地から取り寄せて使うが、柑橘類はやはり和歌山産をよく使うという。

ヨーロッパの街角にあるようなお菓子屋さんが理想。

「故郷新宮で子どもの頃から洋菓子を作る父の後ろ姿に憧れ、自然とパティシエを目指していました」と語るオーナーシェフの中川二郎さん。東京やパリでの修行を経て、都心ではなくあえて住宅街に10年前にオープンした。「普段の生活の中で楽しんでもらえるような洋菓子屋さんにしたかったんです」。店内には、ケーキ



Data ▶パティスリー キャロリーヌ
住所 / 東京都練馬区春日町6-10-28
電話 / 03-3926-0711
営業時間 / 10:00~19:30
定休日 / 第3水曜(祝日を除く)

静かな住宅地でご近所の人たちに愛されるパティスリー。おもちゃ箱をひっくり返したような、幸せ感を感じるお店。ケーキだけでなくパンやクッキー、チョコレートなどの洋菓子も人気。



Topics 1.

日本一の梅産地・和歌山よりランナーの声を反映した梅干「ウメハワプラス」が発売

旬の和歌山情報をお届けします
2014 vol.23

疲労回復効果を持つクエン酸が豊富に含まれる梅干。その機能性に着目し、紀州南高梅を使用したランナー向けの梅干が誕生した。「おいしい健康わかやま」を掲げの機能性をPRする和歌山県と、産地の関係団体で構成する紀州梅の会が共同で開発。マラソン大会に参加するランナーのべ五千人を対象に試食。アンケート調査を実施し、ランナーのニーズに応えた梅干をつくった。+93でクエン酸を表現したピンクのパッケージも好評。



種抜きで携帯に便利なミニサイズ。はちみつ・白干し・とまと味のベース3種に加え、黒糖味やシート状の干し梅などバリエーション豊かなラインアップでアスリートをサポート。



現在、有楽町のアンテナショップ「わかやま紀州館」をはじめ販路を拡大中。
問い合わせ / 「紀州梅の会」事務局(和歌山県田辺市梅振室内)
TEL0739-26-9959

Topics 2. 「きいちゃんステーション」オープン!



いよいよ来年開催の「2015紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」を盛り上げる動きが高まっている。2月9日には「チーム和歌山応援団」が結成され、JR和歌山駅とJR紀伊田辺駅に「きいちゃんステーション」がオープン。国体・大会のマスコット「きいちゃん」のグッズなど約110点を販売し、同時に両大会の関連情報も発信する。オープン当日にはグッズを求めて多くの人が詰めかけた。



一番人気のきいちゃんぬいぐるみ



問い合わせ / 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会事務局
TEL073-441-2955

取材について

取材をバックアップします!

和歌山県では、メディア関係の皆様へ取材への積極的な協力・現地情報の提供等を行っています。

お問い合わせ
■和歌山県広報課
TEL. 073-441-2032 FAX. 073-423-9500
e-mail / nagomi-waka@pref.wakayama.lg.jp
■和歌山県広報課東京駐在(和歌山県東京事務所内)
千代田区平河町2-6-3都道府県会館12階(東京メトロ 永田町駅直結)
TEL. 03-5212-9057 FAX. 03-5212-9059
広報専任スタッフがおりますので、お気軽にお問い合わせください。

和歌山県フォトライブラリー(写真貸出)
http://www.pref.wakayama.lg.jp/photo/
和-nagomi-バックナンバー
http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/nagomi/

「ふるさと和歌山応援寄附」を通じてサポートしてください
和歌山県では、世界遺産や文化財の保全、2015国体開催、美しい海づくりなどに活用させていただきます。選択肢の中から活用方法の指定もできます。どうぞよろしくお願ひします。
※郵便局、クレジットカードもご利用可能です。
http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/



2014 vol.23

企画・発行 / 和歌山県
発行日 / 平成26年3月11日
企画編集 / サンケイ広告(株)
制作 / (有)YS'pros
印刷 / 中和印刷紙器(株)

「和-nagomi-」は、古紙配合率70%以上の再生紙、大豆油インキを用いて制作しています。



プレミア和歌山



那智黒
生産者 / 株式会社 那智黒総本舗
和歌山県東牟婁郡太地町森浦438
電話 / 0735-59-3900
http://www.nachiguro.co.jp
全国の小売店のほか、フリーダイヤル0120-09-3345やファクス、インターネットでの購入可。セロニューム袋中(170g入り)350円(十税)。



和歌山県優良県産品(プレミア和歌山)推奨制度
安心・安全を基本に幅広い分野で優れた県産品を「和歌山らしさ」、
「和歌山ならでは」の視点で推奨する。

「黒飴といえは、那智黒」と言われるほど、高い知名度を持つ老舗ブランド。熊野地域特産の那智黒石に似せて飴を作ったところ、お土産品として人気を呼んだのが始まり。
愛され続ける秘密は、明治10年の創業以来、変わらぬ製法。奄美群島徳之島産で栽培したサトウキビから精製した黒砂糖と砂糖、水飴を直火で二気に炊き上げる。「焦げる手前ギリギリの温度で炊くのが香ばしく仕上げるポイント。微妙な火加減は、熟練工の勘だけが頼り」と坂野一郎工場長。伝統の製法へのこだわりと、南国の恵みが、一粒にぎゅっと凝縮されている。



「原料の黒砂糖は、栽培から製造まで一貫して品質管理しています」と坂野工場長。

南国育ちの黒砂糖を直火で風味よく

tama × panda with たま × ぱんだ きいちゃん

ほくが
レポートするワッ!ホクも応援してる
ワッ!

tama

2013年12月、人気の「たま電車」に
猫耳が付きました!

たま駅長、ウルトラ駅長に昇進

和歌山電鐵の社長代理でスーパー駅長を務めるたま駅長は、1月5日和歌山電鐵全14駅の総駅長職となる「ウルトラ駅長」に昇進。今後は貴志駅の駅長業務だけでなく、後進の育成にも携わるとか。ますます頑張るたま駅長から目が離せない!

お問い合わせは、
和歌山電鐵(TEL.073-478-0110)へ。
駅長たまのツイッター @ekichoTAMA
貴志駅には駐車場はありません。
伊太祈曽駅のパーク&ライドをご利用
頂くと便利です。

panda

クマ界のニューアイドル誕生!



お問い合わせは、
アドベンチャーフルドインフォメーション
(ナビダイヤル.0570-06-4481)へ。
GW期間中(5/3~5/5)は20:30まで
ナイト営業。
公式ツイッター @aws_official
ホームページ <http://aws-s.com/>



「優浜」やんちゃ盛り!

1歳6ヶ月を過ぎた「優浜」は、現在体重56kgに成長しました。とはいえまだまだやんちゃ盛りで、毎日大好物の「竹」を約10kgペロリと平らげます。また昨年11月に誕生したホッキョクグマの赤ちゃんも体重10kgを超え、すくすく成長中。

大きくなったわ!



きいちゃん

2015 紀の国 わがやま国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

2015 紀の国 わがやま大会

第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

「きいちゃん」は紀州犬をモチーフにした、2015年紀の国わかやま国体、紀の国わかやま大会のマスコットです。

「和-nagomi-」WEB版がご覧いただけます 和歌山県 なごみ [検索](#)

和歌山県ホームページ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/>
(携帯サイト) <http://wave.pref.wakayama.lg.jp/mobile/index.php>